

ICT活用

タブレットを併用しながら
児童の多様な学びを創出

「新しい」を取り入れながら
未来へ広がるまなびへ

ま
な
び

恵那のコレカラ
[KORE]

恵那市では、郷土の先人、佐藤一斎の三学の精神を理念とした生涯学習を進めるとともに、充実したICTコンテンツなどを活用した主体的な学びや、地域とつながり郷土を愛する人を育てる学びを推進しています。

子どもの読書人口の減少・活字離れが進む中、恵那市中央図書館は「えなっこ育む豊かな感性本でつながるコミュニケーション」をモットーに、児童図書ラインナップを豊富にし、子どもたちへの読書活動を推進しています。特に力を入れているのが、小学校やこども園で、図書館司書や読書活動推進団体が絵本などを読み聞かせする取り組み。日頃から本を通して豊かな表現や感性、知性を育みます。



山岡こども園での読み聞かせ

point
01

ふるさと学習／郷土を学ぶ

6年間通して深める先人教育
ICTを活かして学ぶ

恵那市では、地域で子どもたちを育てようというコミュニティスクール構想のもと、地域と連携しながら各地域の特色ある「ふるさと」について学びます。また、小・中学校の児童生徒には一人一台のタブレット端末が貸与されており、岩邑小学校では、教科学習だけでなく郷土の先人について学ぶ、ふるさと学習の中でもICTを活用しています。

タブレットで探究学習が便利に

5年生のとき総合的な学習の時間でグループごとに下田歌子さんの人生を調べました。最初は「短歌の人」というイメージだったけど、歌子さんの生涯やイギリス留学のことを調べるうちに、当時当たり前ではなかった女子の教育について知り、驚きました。インターネットを利用したり本を読んだりして調べ、壁新聞にして授業参観で発表しました。レイアウトや文章作成でタブレットがとても役立ちました。

岩邑小学校
永田周太郎さん



教科学習でもICTを活用

太田
あいな
愛渚さん



ICT／未来キャンパス

point
02

地域とスキルをつなげる
新しい学びの場

恵那未来キャンパスでは、恵那市の若者が地元に着定できるよう、将来役立つ多様なスキルを学ぶ場を提供しています。地元企業や大学と協力して地域の課題に取り組むことで、やりがいやスキルを得るチャンスを作り、新しい世代がチャレンジできる機会を増やします。

先進的な教育の機会を子どもたちに

地方は都会と比べると、ITをはじめとしたより進んだ教育に触れる機会が多くありません。そこで考えたのが「地元の高校生たちが市の課題を解決するアプリを作る」という企画。高校生がチームを組み、自らアイデアを出しプログラミングするものです。主体的に取り組む姿や、集大成の発表会は感動ものでした。恵那の子どもたちのレベルアップにつながるように、質の良い学びの機会を継続的に提供していきたいです。



プログラミングを学ぶ講座

恵那未来キャンパス
企画会議リーダー
秋山 浩司さん



point
03

恵那南高等学校／地域連携

地域と連携し
イノベティブな人材を育成

恵那南高等学校にはこの地区唯一の総合学科があり、幅広い選択科目から主体的・実践的な学習ができます。特に、地域と連携し、地域課題解決に向けて学ぶことができるのが特色です。生徒たちは、少人数制で個性を大切に丁寧な指導のもと、地域の方々と関わりながら学んでいます。

地域課題を解決する授業が魅力

実践的な学びに魅力を感じ、「ビジネスと観光系列」を選択。3年次にはドローンの技術を学び、地域と連携してドローン技術で課題を解決する方法を探究しています。授業では課題解決のためのアイデアを、さまざまな方と意見交換する場面も。その中で、自分たちが地域に見守られながら育ってきたことに改めて気づき、それに恩返ししたいという思いが強くなりました。将来は、地域に貢献できる進路を考えています。



屋外でのドローン操作

恵那南高等学校
西尾 拓磨さん



スポーツを通じた学び

オリンピックとのスポーツ教室 快適な運動環境の整備

健やかな学びには、健康な体づくりが欠かせません。恵那市ではスポーツ分野と教育分野との連携を図り、スポーツを通じた学びを推進しています。オリンピックなどを招いたスポーツ教室を開催している他、快適な運動環境をつくり出すため、教室だけでなく小・中学校の体育館にもエアコンを設置しています。



オリンピックによるかけっこ教室



エアコンの付いた体育館

恵那の偉人

日本の歴史を動かした
恵那にゆかりある偉人たち



女子教育に生涯をささげた人



幕末の大儒学者



植物学の基礎を築いた人



明治洋画壇の先駆者

山本芳翠